

# 古の都奈良に 前代未聞の野外オペラ現る!



第三幕 フィナーレ

2016年9月22日（祝・木）24日（土）、奈良平城宮大極殿前にて特設ステージを設け、ジャコモ・プッチーニ作曲「トゥーランドット」を公演いたしました。一日目は惜しくも第二幕終了後から降り出した雨により、公演は中断・中止となりましたが、二日目となる24日は全幕の公演を行うことができました。

ご来場いただきましたお客様、そして日頃よりご支援とご声援を下さる方々に支えられて、本公演を実現することができました。心より御礼申し上げます。

# 歌劇「トゥーランドット」

9月22日・24日  
奈良平城宮跡大極殿特設ステージ

**奈良平城宮**大極殿前で行われた歌劇「トゥーランドット」。この公演は、日本とイタリアの出演者合わせ約150名、ボローニャ歌劇場管弦楽団より約90名、その他日伊のスタッフを合わせ総勢約400名が関わった公演となりました。

演出家にアレッシオ・ピツェックを迎え、紫禁城が舞台であるこの作品を、借景の技法を取り入れた演出により見事成功させました。素晴らしい歌手の方々の歌声とボローニャ歌劇場管弦楽団が奏でる音楽によって、平城京が一夜にしてオペラ色となりました。



第二幕 中盤



第二幕 ピン・パン・ボン



第三幕 終盤

## ジャパン・オペラ・フェスティバル2016「奈良公演」を終えて

2016年9月24日、奈良での2日目の公演を無事に終えて、平城宮跡での野外オペラ公演という大プロジェクトを終えることができました。

初日は第二幕終了後に始まった雨が降りやまず、残念ながらそのまま中止となってしまいました。雨の中、再開を待っていたお客様になんとか最後まで見ていただきたかったという無念さが残った初日でしたので、24日に終演までやり切ることができ、まずはホッとしたというのが正直なところです。

「平城宮でオペラを」という話が持ち上がったのは昨年1月頃。その後、3月に奈良県の荒井知事と理事長の澤上が面談し、プロジェクトは正式に走り出しました。それから1年半に渡り、平城宮史跡の使用許可申請や指揮者、演出家との打ち合わせ、イタリアとの契約や舞台デザイン・大道具・衣装の準備、ソリストオーディションの実施、合唱や助演などの出演者募集、舞台設営や照明プランの手配、海外からの渡航と滞在の準備、リハーサル会場の確保、さらにはチケットの販売からお客様の当日対応まで、膨大な仕事の山を事務局スタッフとともに駆け抜けてきました。最終的な出演者・スタッフは総勢約400名。一つの舞台に向けてそれだけの大人数の力を結集した一大事業でした。



平城宮大極殿



日本での全体練習初日練習風景

## 武井基治 夢を超えた先にみるもの

今回のトゥーランドット公演で私が演じたピン・パン・ボンのパン役は、シリアスな物語の中でも人間味あふれる感情を表現し、哀愁あり、道化ありと難しくもやりがいのあるものでした。音楽もピン・パン・ボン3人の掛け合う音楽は、1人がミスをするると他の2人にまで影響が出てしまいます。特に今回は暗譜が大変で、この夏は焦りが募り苦しい日々でした。しかし稽古が迫ったある日、突然一気に音楽が私の体の中に入って来ました。ゼロから初めていつしか私の一部となる、歌手としてこの感覚は何物にも代え難い喜びでした。

そんな中、ボローニャにて実際の稽古が始まったのは、奨学生としてイタリアに来てから8ヶ月が経った時期でした。その前の8ヶ月トリエステ歌劇場で3つのオペラ、7月には歌劇「椿姫」のアルフレード役に主役デビュー、と充実した時間を送らせていただきました。それらの経験から今回は、稽古から気負うことなく自分らしく臨んでいると感じました。世界的なオペラ歌手を目指す者にとって、技術、言語力、文化、経験を踏まえ、自分をしっかり支える根を張ることが大切だと思っております。

ボローニャ歌劇場の稽古場に向かう途中、一瞬私は夢の中を歩いているような感覚に襲われました。向かっているのはオペラ歌手を志した日から夢に見ていた場所、そして今現実にとゥーランドット公演に向けて稽古に励んでいる。夢を超える瞬間はこんな感覚なのかもしれない。しかし絶えず私の心を支配しているのは、与えられた役を求められているクオリティ以上で舞台に立ち、責任を果たさなくては行けないという思いです。

今回、世界で活躍しているソリスト、ボローニャフィル、マエストロ吉田氏と共に、平城宮という素晴らしい場所で公演をさせていただいたこの経験を糧とし、これからもイタリアにて真摯に頑張っております。

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。  
大阪芸術大学大学院に在学中。  
2014年ボローニャ歌劇場日伊共同制作オペラ《蝶々夫人》に出演。2015年度オペラ《道化師》に日本人唯一のソリストとして出演。2015年レッツェ・ポリテアマグレコ劇場にて《トスカ》に出演。2016年トリエステ・ヴェルディ歌劇場にて《ノルマ》《ルイザ・ミラー》《ラ・ボエーム》に出演。同年7月ロマーニにて《椿姫》にアルフレード役に出演。公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団2015年度留学助成オーディションに合格。



武井基治  
Motoharu Takei



岸七美子  
Namiko Kishi

## ボローニャ歌劇場フィルハーモニー特別演奏会 イタリアン・オペラ・ガラ・ナイト

9月28日  
サントリーホール

**イタリア**音楽を代表する作曲家であるヴェルディとプッチーニの作品にスポットを当て、9月28日にはサントリーホールでガラコンサートが開催されました。奈良公演に引き続きノルマ・ファンティーニ、イアン・ストーリー、シッラ・クリスティアーノ、マウリーツィーノ・レオーニ、武井基治が出演しました。

首席客演指揮者を務める吉田裕史の指揮のもと、ボローニャ歌劇場フィルハーモニーは歌とうねりに溢れた、まさに「イタリア」的のときか言いようのない魂のこもった演奏をサントリーホールに響かせました。サントリーホールの誇るパイプオルガンを加えて演奏された「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲は心深くまで染み渡るもので、終演後も拍手が鳴り止みませんでした。



「誰も寝てはならぬ」イアン・ストーリー



カーテンコール

## 2017年さわかみオペラ財団 イベントスケジュール

2月	イタリアオペラツアー
2月～3月	留学生及びジャパン・オペラ・フェスティバルオペラ公演出演者オーディション
5月又は7月	イタリアオペラツアー
7月～8月	オペラ公演プレイベント
9月	ジャパン・オペラ・フェスティバル開催
9月20日(水) サントリーホールにてボローニャ歌劇場フィルハーモニー公演開催決定！！	
※詳しい日程は随時HPで更新いたします。	

## ボローニャ歌劇場フィルハーモニーソロイスト ーヴィジュアルディへのオマージュ

9月26日  
浜離宮朝日ホール

**ボローニャ**歌劇場フィルハーモニー理事長・マンゾーニ歌劇場芸術監督にして、世界的なフルーティストでもあるジョルジョ・ザニョーニ氏が、フィルハーモニーの選りすぐりのメンバーと贈るチェンバーコンサート。世界で好評を博しているこのコンサートが、浜離宮朝日ホールで開催されました。

ソリストの技巧が光る「調和の靈感」に、ザニョーニ氏のフルートが冴え渡る「フルート協奏曲」。互いの呼吸を知り尽くしたメンバーならではの生き生きとした音楽は会場を興奮の渦に巻き込み、アンコールはなんと3曲も演奏されるなど、大満足のコンサートとなりました。



## 留学生紹介

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。卒業時にアカンサス賞および同声会賞。二期会オペラ研修所修了時に優秀賞および奨励賞。日伊声楽コンクール2位、コンセルマロニエ2位、東京音楽コンクール3位、カルソー国際オペラコンクール・イタリア国内4位。2015年、群響70周年記念《蝶々夫人》主役を務める。さわかみオペラ芸術振興一般財団法人助成により渡伊、トリエステ国立歌劇場に所属。同歌劇場《ノルマ》クロティル役にデビュー。ボローニャ歌劇場の依頼により、国際音楽フェスティバルに出演。同歌劇場との共同公演・ジャパン・オペラ・フェスティバル《トゥーランドット》で、トゥーランドット役カヴァー及び、第一の侍女役。二期会会員、日本声楽アカデミー会員、日本演奏連盟会員。

新潟県新潟市出身。国立音楽大学卒業及び歌曲ソリストコース修了、東京藝術大学大学院修士課程(独唱科)修了、新国立劇場オペラ研修所第15期修了。これまでに「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役、「道化師」ネッダ役、「魔笛」パミーナ役、侍女役、「ナクソス島のアリアドネ」作曲家役、エコー役、「ラ・ボエーム」ミミ役、「結婚手形」ファンニ役を演じる。第21回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位入賞。現在、公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団の助成によりボローニャ在任。



原璃菜子  
Rinako Hara

# 熊本城復興応援コンサート

ジャパン・オペラ・フェスティバルから2週間後、我々はトゥーランドットの配役オーディション、イタリア留学助成金オーディション合格者と共に熊本復興応援コンサートを行いました。これは熊本市からの熱いオファーとその気持ちに澤上理事長が応える形で実現しました。熊本地震が起きてから半年、被災地の「今」は東京にいる私たちのもとには届いていないのだと実感するほどの熊本城の痛々しい様子でした。

「熊本城はいつもそこにあって、当たり前のように夜になればライトアップされていた。震災後暫くライトアップできなかった期間は、心にぽっかり穴が空いたようだった。ライトアップされたとき心から「頑張ろう！」と思った」（熊本市職員）

生まれた時からずっとあったものを突然奪われた熊本市民の皆さんを思うと、心が痛みました。歌手の皆さんは、熊本城復興への願いと、元気づける気持ちを込めて歌っており、その歌声に涙している方もいました。

野外オペラが『動』なら、復興応援コンサートは『静』それぞれの形で歌が人の心を動かす瞬間に幾度も出会うことができました。



左より：神戸薫子さん、岸七美子さん、原璃菜子さん、梨谷桃子さん、武井基治さん、加藤史幸さん、斉木健詞さん  
ピアニスト：伊坪淑子さん

熊本城復興支援にご協賛いただいた企業様



熊本城復興支援寄付のお知らせ

熊本城並びに、被災地の方への支援をしております。  
こちらのホームページから受付けております。

<http://www.sawakami-opera.org/kumamoto-castle-cheer-information>



## さわかみオペラ財団の会員に、あなたもなりませんか！！

オペラ文化というものを日本中に広めたい。世界中の人々に愛唱される日本語のオペラを一曲だけでも世に出したい。世界トップレベルのオペラ芸術を日本の誰もが格安で楽しめ、それが日常生活の一部となってくれたらどんなにステキでしょう。そんな中から、日本の歌手たちが世界を舞台に大活躍すると、これまたスゴイことです。オペラ文化の醸成にやりたいこと、できることはたくさんあります。毎年のオペラ公演や公開オーディションをはじめとして、様々な活動を皆で一緒に楽しみましょう。

### ●お問い合わせ

公益財団法人 さわかみオペラ芸術振興財団  
〒102-0082

東京都千代田区一番町29-2進興ビル4F

TEL : 03-6380-9862 (9時～17時まで)

FAX : 03-6380-9863

mail : [info@sawakami-opera.org](mailto:info@sawakami-opera.org)

HP : <http://www.sawakami-opera.org/>



### ●入会特典

公演観劇券優先のご案内

会報の配布

特別企画のご案内 など

※詳細については、お問い合わせください。

### ●年会費

ファンクラブ 年額一口10,000円

賛助会員（個人）年額一口50,000円

賛助会員（法人）年額一口100,000円

特定公益増進法人としての、寄付金税制上の優遇措置が受けられます。

### ●お申込方法

ホームページ内にある申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはファックスにてお送り下さい。

メールでお申し込みの際には、件名を「賛助会員申込」としてお送り下さい。尚、各公演会場、電話でもご案内及びお申込を受付けております。